

桜の開花とともに、神功地区の新年度がスタートしました。



1. 桜が満開のなか、ならやま小中学校では入学式(4/11)、神功こども園では入園式(4/12)が行われました。ご入学、ご入園の皆さん、保護者の皆様おめでとうございます。子供たちの緊張しながらも希望に満ちた明るい表情が印象的でした。



2. 旧神功小学校の跡地活用

公募型プロポーザル審査(3/21)の結果、京阪電鉄不動産を代表構成員とするグループが優先交渉権者に選定されました。売却する跡地部分を住宅地に整備する他、公民館とこども園の底地造成及び開発道路の設計・施工を担当します。

設計方針(プレゼン)は、奈良市と自治会要望に沿ったものになっていますが、今後(6月議会承認後)、具体的な設計内容についての説明会開催を、奈良市と業者に求めて参ります。

3. 池公園の魅力アップと利活用

令和7年度、神功自治連合会から要望していた“池公園トイレの建替え”と“多目的広場(広場兼駐車場)の整備”が始まります。

入札手続きや工事の準備を経て、トイレの工事は夏頃からの見込み。多目的広場の造成工事はトイレの工事が完了する年末頃からはとなります。現駐車場の拡張工事については、令和7年度は現地の測量や設計を行うようです。また3年間のトライアルサウンディングを経て、公園を楽しく安全に利用するためのガイドブックや案内板を、奈良市と自治会で議論し、作っていく予定です。

今後、池公園の工事や利用ルールに関してご意見等ございましたら、各自治会までよろしくお願い致します。

4. 高の原駅前周辺の樹木調査

4月8日(火)樹木医の天野先生のレクチャーを受けながら、高の原駅前周辺での樹木調査が行われました。これは令和7年度から始まる高の原駅前再整備に先立ち、残す樹を見極めるためのものです。シンボルツリーとも言える駅前の“センペルセコイア”は、現時点良好とのことですが、今後は根の発育や枝の剪定などに気を配っていく必要があるとのことでした。他にも樹が密集しているところでは、樹木を間引くなど手を加える箇所が明らかになってきました。

